

飯田善國 人物画展

少女～裸婦～自我～見つめるその先にあるものは

2013年3月～8月

ごあいさつ

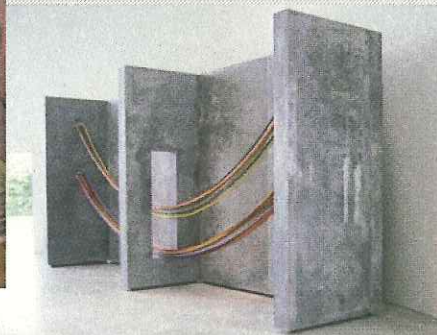
表情豊かな穂高の山並みのかたわら、豊かな自然とともに、私たちは仕事を続けてまいりました。

そして2000年、創立30周年を迎えるにあたり、次の世紀に向けてさらに創造性の高い精緻な仕事をめざすため、私たちは新たな出発点を求めました。

私たちのめざす最高の精度の追求、そのための技術を求めるとき、私たちは強い意志と豊かな感性が不可欠であると考えました。そうした強い意志や豊かな感性と出会える場所をつくりたい。こうした願いから生まれたのがこの「IIDA・KAN」です。

「IIDA・KAN」ではその名前の示すように、飯田善國の作品をご覧いただけます。

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ



戦後の日本を代表する独創的彫刻家として知られる飯田善國ですが、その出発は絵画からでした。画家としての本格的な活動は芸大時代から渡欧後のウィーン時代の僅か10年間です。このたびは、その絵画の中でも人物を中心に描かれたものを展示しております。飯田のバックグラウンド、時代背景により移り変わる表現方法や画をどうぞご覧ください。

■ 飯田善國 (いいだ・よしくに)

1923(大正12)年、栃木県足利郡生まれ。慶應義塾大学高等部から応召(学徒出陣)し中国大陸へ。戦後は慶應大学に復学し西脇順三郎に師事。卒業後の1948(昭和23)年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956(昭和31)年、野上彌生子との縁でローマに留学しファッツナーのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。後、ウィーンに移り1959年には抽象裸婦連作を描く。その後本格的に彫刻に転じウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967(昭和42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属と着色ロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外にひろく知られるほか、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。享年82歳。

●開館時間=午前10時～午後4時・無休 ●交通=[電車]大糸線穂高駅から「ハーモニックドライブ」を目的地に タクシーで15分
[車]長野自動車道安曇野インターより県道495号、25号 経由で20分 ●お問い合わせ=〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧1856-1
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ穂高工場内 TEL 0263-83-6800(代) <http://www.hds.co.jp>